



平成 23 年 10 月 19 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長 田代 宗雄
(コード 2388 大証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 執行役員経営管理本部長 浅野 樹美
(TEL 03 - 6225 - 2207)

連結子会社の資本増強に関するお知らせ

当社の連結子会社である Group Lease PCL (以下、G L) は、この度発行済み新株予約権の行使によって資本増強されましたのでお知らせいたします。

この度は、主に G L の主要株主の 1 社であるタイ法人 A. P. F. Holdings Co., Ltd. (以下 A P F) を中心に新株予約権の行使がおこなわれ資本の払い込みがされております。A P F は今年 6 月にも新株予約権の行使を行っており、当社子会社である G L に対する資本面での継続的な協力を行っております。

記

1 新株予約権の発行について

当社の連結子会社である G L はタイにおいてオートバイローンの引き受け事業を営んでおり、タイ国内の需要の高まりを背景に積極的に事業拡大に取り組んでまいりました。また同社は事業の拡大に伴って継続的に発生する事業資金の需要を勘案し、タイ国内の主要銀行からの資金調達を行うとともに、更なる資本の充実をはかるため 2009 年 1 月に既存株主に対する新株予約権を付与してまいりました。

2 新株予約権の行使内容について

この度、発行済み新株予約権のうち、2,669,800 個が行使されることにより G L の資本は 61,405,400 パーツ (154,127,554 円 行使前発行済み株式数の 4.48%) が増強されておりますが、主たる行使者は主要株主の 1 社である A P F であります。

A P F は、タイをはじめとする東南アジアにおいて展開する投資会社であり、当社連結子会社である G L の 20.61% (平成 23 年 9 月 1 日現在) を保有する主要株主です。同社は G L の資本増強を通じ同社の中長期的な収益拡大を期待することから、平成 23 年 10 月 5 日を払い込み期日として 1,300,000 個の新株予約権の行使を行っております。

平成 23 年 10 月 5 日を払い込み期日とした新株予約権行使による増資の内容

- (1) 新株予約権行使数 : 2,669,800 個
- (2) 行使価額 (1 個あたり): 23 パーツ
- (3) 行使前発行済み株式数 : 59,651,396 株

- (4) 行使後発行済株式数 : 62,321,196 株
- (5) 払込金額 : THB 61,405,400 (154,127,554 円) (注)
- (6) 払込期日 : 平成 23 年 10 月 5 日

A P F の新株予約権行使による増資の内容 (内数)

- (1) 新株予約権行使数 : 1,300,000 個
- (2) 行使価額 (1 個あたり) : 23 バーツ
- (3) 行使前保有株式数 (比率) : 12,846,042 株 (20.61%)
- (4) 行使後保有株式数 (比率) : 14,146,042 株 (22.70%)
- (5) 払込金額 : THB 29,900,000 (75,049,000 円) (注)
- (6) 払込期日 : 平成 23 年 10 月 5 日

(注) (平成23年10月19日時点の直物為替相場2.51円による円貨換算額であります。)

3 今後の方針

GLは、平成23年6月30日時点で既に負債比率が1.22となっており、これは一般的なファイナンス会社と比べ極めて低い負債比率となっております。この度の増資により、さらに負債比率が低下いたしました。これにつきまして親会社であります当社グループといたしましては、リーマンショックや、タイにおける昨年の騒乱などのマイナスの環境にもかかわらず、同社の事業が好調であり、さらに将来に資金需要が見込まれているため、現時点での資本増強ができましたことを歓迎するものです。また、同社においては積極的にタイ国内外において同事業を拡大させる方針でもあり、方針実現のためには資本が厚くなることは好条件であり、機動的な経営判断が可能になったものと判断しております。また現在報道されておりますタイ国内の洪水の状況にGL社が機動的に対応するためにも意味のあることであると考えております。これらの状況から当社グループにとっても今回の資本増強は大いに歓迎するものです。

当社グループは、当該の新株予約権を保有していなかったことから、この度の資本増強には参加しておりませんが、同社の事業の拡大を好感しており、また、タイ国内および、国境を越えた事業展開を見越して、今後とも必要に応じた同社の資本増強には積極的に協力する方針としております。当社グループは従来から同社取締役会へ過半数の役員を派遣するなど経営資源の強化に取り組んでまいりましたが、今後もA P Fを初めとした主要株主と協力的な関係を保ちながら、親会社としてグループの中核である同社事業の拡大を積極的に支援していく方針であります。

なお、現在報道されておりますタイ国内での洪水の影響につきましては現在、確認を行っているところでございます。GLの資産状況に大きな影響を与えるものではないと予想しておりますが、詳しい状況を確認次第、皆様にご報告いたします予定です。

以上